

千葉大学病院、厚労省臨床試験
中核病院に採択

北大、名大、京大、九大、千葉大の
5施設が選定

千葉大学医学部附属病院は、厚労省の指定する全国5カ所の臨床試験中核病院に本年5月に採択された。これは、国の医療イノベーション政策の一環であり、昨年指定された早期探索臨床研究機関5施設とともに予算が重点的に投下され組織の拡充がされる。本年7



早期探索臨床研究機関5施設と臨床試験中核病院5施設

月、内閣官房医療イノベーション室のスタッフが当院を訪問し、医療イノベーションにおける大学の役割に関して会議が実施された。特にアカデミック臨床研究機関（ARO）に関する当院の取り組みに関して重点的に議論が行われた。この中で、大学が主体的に国

際共同試験を今後実施できる環境が整備されることが重要であるとの議論もされた。本学は、AROとして明確なアウトプット（事業承認、先進医療）を目標とした臨床試験を実施していくことが求められる

エキスパートと話そう

薬学部の学生45名に卒業後の将来について考えてもらうためのセミナー「エキスパートと話そう」が千葉大学OB5名を招待しイン



セミナー風景

2012.9
発行18号
千葉大学
臨床試験部
(6460)
CCRCnews



新規治験
募集中!

OB5名を招待しインセッションプラザで開催された。慶應大学教授黒川達夫先生、第一三共株式会社齋藤宏暢先生、ノバルティスファーマ株式会社関根恵理先生、PMDA服部泰之先生、染川麗良先生の参加のもとパネルディスカッション、グループ討議が行われた。英語の能力、積極性など、国際社会での活躍ができる人材が今後求められるというの

新人紹介 臨床試験部の新たなメンバー紹介

- 講師
川瀬 貴之 (法哲学)
- CRC
福澤 朋子 (薬剤師)、佐久間 郁 (看護師)
- 事務補助
達田はずき、野田 優里

コラム
赤いひまわり



臨床試験中核病院の採択は、千葉大学として大変喜ばしいことである。千葉大学は震災とされ続けているが、5月に開催されたヒアリングでは猿田享男先生が座長を務められており、6分のプレゼンテーションを聞いて開口一番、すばらしい活動ですなどの言葉があった。大学を挙げての取り組みと今後の方向性

に対する評価を示すものであり、研究者、病院スタッフと臨床試験部の連携した取り組みが正しかったことを意味する。今後、さらなる飛躍が臨床試験中核病院のモデル校として求められることとなる。改めて多くに関係者の協力を表す。



私と臨床試験

千葉大学医学部附属病院整形外科 准教授
山崎 正志

私たち整形外科の頸椎脊髄グループは「急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）を用いた神経保護療法」の医師主導型自主臨床試験を進めています。外傷により脊髄が損傷されると、四肢の麻痺が生じます。これまでの常識では、損傷した脊髄そのものを治すことは不可能とされてきました。しかし、近年の再生医療的アプローチの進歩は目をみはるものがあります。私たちも基礎研究で、本来は血球系の増殖因子として臨床使用されているG-CSFが、脊髄損傷モデル動物の麻痺を回復させること、そして損傷脊髄に対するG-CSFの作用機序を明らかにしました。そしてこの基礎データをもとに、脊髄損傷の患者さんに対する新しい治療法を確立すべく、平成20年6月から臨床試験を開始しました。現在までのところ、G-CSFを脊髄損傷の急性期の患者さんに点滴静注することで、運動麻痺の有意な改善が得られています。引き続き臨床試験を進め、脊髄損傷に対する日本発の新たな治療法の確立を目指したいと思います。